



あまりのあるわり算について考えよう

東大阪市立布施小学校

教科

算数

単元名

あまりのあるわり算

本時のねらい

- ・ちょうどにわけられないわり算について調べる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

Google Jamboard を活用し、タブレットに送られた具体物のイラストを袋に見立てた付箋上に動かし、わかった後にあまりがあるわり算があることに気づく。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google Classroom
- ・Google Jamboard
- ・Google スライド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none">・Classroomで今日の予定の確認をする。・毎時間行っている九九の確認をスライドです。【写真1】・既習のわり切れるわり算の課題について、Jamboardを使って復習する。	<ul style="list-style-type: none">・予定を確認することで学習の見通しがもてる。・自分の確認したい九九をスライドでフラッシュカードのように表示することで、自分のペースで学習できる。・Jamboardで、具体物のイラストを動かすことで、同じ数ずつわけることを、視覚的にとらえることができる。
展開 (20分)	<p>めあて ちょうどに分けられないわり算について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none">・復習の時と同様に Jamboard を使って 13 個のあめを 3 こずつに分けたり、4 こずつに分けたりする。【写真2】・あまりがある時のわり算の式を立てる。	<ul style="list-style-type: none">・Jamboard 上でドーナツやあめといった具体物のイラストを袋に見立てた付箋上に動かすことで、「わける」「あまる」ということを視覚的にとらえることができる。・Jamboard でそれぞれが作成した友だちの考え方を確認することができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none">・あまりがあるわり算も、わる数の九九を使って答えを出すことができる事を確認する。・Classroom にふりかえりを投稿する。 <p>【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none">・Classroom 内でふりかえりを共有することで、友だちの学びを交流することができる

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】スライドで九九を確認している場面



【写真2】Jamboard であめを同じ数ずつ分けている場面



【写真3】Classroom でふりかえりを書いている場面

児童生徒の反応や変容

- ・九九を覚えることが難しかった児童も、スライドを使って決まった時間内で毎回くり返し取り組むことで、自信がついてきた。
- ・同じ数ずつわけるという表現からすぐに立式させるより、わけるということを Jamboard 上で操作することにより、視覚的にわられる数、わる数、商、あまりが理解できた。
- ・Jamboard 上の友だちの考え方と、自分の考え方の共通性が認められることで、安心する様子が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・九九が苦手な児童には、スライドを作つておくことで、自分のペースでフラッシュカードのように学習ができ、文章問題などで九九が必要となったときにいつでも自分で必要な九九を確認することができる。
- ・文章表記だけで立式しようとすると混乱が起きたり、答えの単位に自信が持てなくなったりする児童には、Jamboard 上で図を動かし、視覚的な作業が加わることで考え方を整理しやすくなる。

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP 2, E-STEP 1
J-STEP 2, K-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

